



発行所：ほかにわ共和国
発行責任者：志賀俊紀
編集責任者：ほかにわ広報部



ほかにわ Only One の五K(ケイ)

理事長 志賀俊紀

今日の言葉！ほかにわない・オンラインワンの〇〇〇の
唱和が一日の始まりだ。令和四年の新年は五つのKで
ある。即ち、感動・感謝・希望・絆・継承の五Kだ。

「福祉文化的処遇実践のキーワード」である。施設的生活
の中で、非日常を分析してみるとカ行の頭の漢字にその秘密



玄関のシーサーから見たほかにわ神社の鳥居と桜

郷土の偉人

三宅良斎ゆかりの墓地

口之津史談会会員 竹下昭平

先般、志賀理事長と筑波大学名誉教授の津
曲裕次氏、元国士舘大学教授の松本昇氏の四
人で、北有馬町今福の末永家の墓地を訪ね
た。私の曾祖母が江戸末期、北有馬の医師だ
った末永道伯の娘だったからだ。墓地は大き
く、中央の墓石には、正面右側に末永道伯、
左側に三宅琉璃と刻んである。三宅琉璃が私
があった。私が、福祉文化を学び始めた頃
のことだ。今私は、現役七十八歳、五Kを解
説すると、過去には感謝、現状には感動、未
来には希望を持つことであると認識してき
た。そして、神道的側面から、絆と継承(伝
統・歴史)は重要な要素であると父幸村の言
葉だった。

八雲寮歌にはそれが込められている。寮歌
誕生の由縁は、昭和五十二年九月のことであ
る。それまで、知的障害施設に文化という概
念が希薄で、改善されたのは国際障害者年昭
和五十六年以降である。八雲寮は少し早めに
文化を意識していた。しかし、五Kは、私が
福祉文化学なるものを習得し始めてからの
概念である。実践現場は日常と非日常に分か
れた生活パターンがある。

知恵は頭で編み出し、実践は体で習得す
る。そして、概念化される。つまり、生活の
喜びは、日常の訓練ではなく、非日常の特別
な体験の喜怒哀楽に有ると気づいた。それ
は、偶然の中で生まれたのである。

つまり、偶然を必然に変えることによっ
て、当然の行動になる。そして、当然の生活
が担保されると実証ということになる。私た
ちの福祉現場が興味を持たれ、説得材料にな
るのか、「実証」という現象の確認行為であ
る。ところで、世界的な悲劇が、ロシアのウ

の曾祖母セキの母親である。妻の名に
旧姓が入っているのは初めて見た。琉
璃はシーボルトの門下生であった三宅
良斎の祖父玄碩の弟の文泰の娘だ。

江戸時代の末期、蘭方医として全国
に名の知れた三宅良斎と血筋がある関
係から、末永道伯の名の横に「三宅」
という旧姓を入れたと推測される。こ
の件は三月二十一日に一時間半のドキ
ュメント番組で有線放
送「ひまわ
りテレビ」
で放映され
た。



上の写真は
取材のため
墓地を訪問
した時の一
枚である。

クライナ侵攻によって引き起こされた。プ
ーチンは冷戦が終結した世界に、民族と人
権に非人道的悪夢を招いた。当然、許され
る問題ではない。一九八九年、東ドイツの
ベルリンの壁の崩壊、ソ連邦の解体を体験
した。筆者は、壁の崩壊前後二回、ドイツを
訪問した。冷戦時代のチェーリーポイント
のゲートの緊張感は今でも忘れることはな
い。そして解放後の市民の喜びの顔も忘れ
ることができない。

しかし、あの悲劇が今起こっているの
である。最早、そこには福祉という言葉は存
在しないだろう。福祉は、経済発展と平和
な社会の中で醸成されるが、避難民と化し
た国民の中には障害者の福祉もない。人類
の歴史で、障害者は何時も論外の世界に住

デイ雲 放課後等デイサービス利用
の岩下蓮さんのお母さんから「意見
を頂きました。」

○デイ雲を利用されて五年が経過し
ましたが蓮君の様子は？

初めて見学に来て行つた時、高学
年の子供達が来た途端、洗濯機の横に
入り込み、怖がっていたことがとても
懐かしいです。今はすっかりデイ雲の
職員、利用者さんにも慣れ毎回来しみ
に通っています。低学年の頃は先生や
職員さんと遊ぶことが多かったよう
ですが、最近ではお友達と(手話を交
え)コミュニケーションも取り、一緒
に遊ぶことも多くなつてきていますよ
うです。

○施設や職員に対する要望などお聞
かせください。

あいうえお、数字、名前、少しく
ですが書いたり、読めたりと理解でき
るようになっていくようです。デイ雲
で教えて頂いているおかげで助かっ
ています。これから思春期になってい
くので、そこらへんのお話も相談した
いと思っています。

○六年生に進級されますが小学校最
後の年、期待されることは？

まだ言葉もハッキリしないし、自分
で自分の準備や着替えなどもちゃん
とできないけれど少しずつ成長でき
ています。この調子で進歩していけれ
ばと思います。蓮のペースでいいかな
と思つています。何より可愛いしおも
しろい人です。

岩下 母より

んでいたのだろうか。「共生社会」
の言葉などない世界である。一刻も
早い停戦が成立し、そして戦争犯罪
者は然るべき裁きを受けて、平和な
日常が来ることを祈りたい。



前列(右から)山口さん、富永さん、町田さん、田口さん
後列(右から)高倉さん、岩崎さん、宮崎さん

祝

還暦・古稀
おめでとうございます

今年度も開催された長寿の祝い。新型コロナウイルス感染症によって、外出行事がすべて中止となっていて、みなで参加できなかったことを心から嬉しく思います。今年度は還暦(岩崎さん)と古稀(田口さん・高倉さん・富永さん・山口さん・宮崎さん・町田さん)の7名が対象でした。温かな雰囲気の中、日頃から生活を共にしている利用者の方より花束と記念品の贈呈が行われました。涙を流す方もいれば終始笑顔で過ごされる方もいてとても心に残る年祝いでした。



障害者支援施設
八雲寮広報部

今後の行事

4月23日
遠足

5月
帰省(予定)

6月
収穫祭

皆さん、見た目も気持ちも若々しく見えませう。これからも体に気をつけて元気に過ごしていただきたいと思えます。私達もお祝いの席に参加させていただき、元氣と嬉しい気持ちをもりました。これからも精一杯サポートしていきたいと思えます。

(吉田幸弘)



花束・記念品贈呈の様子



温泉神社でのお祓いの様子

ピッカピカになりました!

毎週水曜日、洗車日と設定して職員と利用者の方々と一緒に洗車を行っています。水を流す人、磨く人、拭き上げをする人等、それぞれ役割分担を決めて作業しています。磨き残しがあると、「ここも汚れているね」と言われ隅々まできれいに磨かれていました。車内においても丁寧に掃除している様子が印象的でした。洗車が終わると、「きれいになった」と喜ばれていました。



いつもありがとう!

これから日頃よりお世話になっている公用車をきれいにしましょう。

(松本竜平)

千代垣荘で育てた野菜

収穫がんばりました!

今年のタマネギは、雨が降らなかったこともあり実入りが遅く、3月中旬とかなり遅い収穫始めとなりました。早いこと収穫を進めるべく他の作業科・デイ雲の力を借り、総勢30名程で収穫しました。



タマネギ収穫の様子

中には若かりし頃、戸外班や農家さんと契約を結んでバリバリと農作業に打ち込んでいた方々もいます。そのお陰もあって、農芸科だけの力では行えない量のタマネギを収穫することが出来ました。

座席いっぱい人が乗ったマイクロバスも久しぶりに嬉しそうに走ってくれていました。

(副主事 中村 要平)

今年度、初めて家庭菜園でブロッコリー、人参、大根、白菜、ほうれん草等の栽培に取り組みました。濱田世話人と共に草取りや水やりを行い、おいしい野菜ができました。穫れたての野菜は新鮮であり、野菜嫌いな方も「おいしい」と言われ大好評でした。また、収穫した大根を漬物にしてみんなで頂きました。次はどんな野菜を育てようかな? (中島可奈)



新鮮な大根を収穫しました!

じゃがいも雑感!

八雲寮に異動してきて、早一年が過ぎようとしています。この一年を一言で表すのであれば、それは「感謝」です。たくさんの方々に助けてもらった一年でした。皆さん、本当にありがとうございました。

最近のマスメディアでは、ロシアとウクライナの戦争など、悲しい話題ばかりですね。誰もが笑顔で暮らしている社会であってほしいと願います。私たちの身近なところでも争いは起きると思います。他人を責めることも裁くこともなく、お互いが思いやりを持って、自分と対岸にいる人の意見に耳を傾けて受け入れることが大切だと思います。「笑う門に福来る」といったことわざがあるように、次年度も笑顔を忘れず、仲間と協力して自分のできることを精一杯頑張りたいと思います。

(指導主任 大島涼子)

がんばらんば宣言

毎号掲載しているがんばらんば宣言
今回ご紹介するのは・・・?

富永臣泰さん



カラオケが好きで、歌声を披露しています。

入所日 平成22年6月1日

ひまわり

4月号 No.205

一年間の成果を披露！

第十七回活動発表会

二月二十六日、十七回目となるデイ雲活動発表会を二年前ぶりに体育館へ場所を戻し開催しました。

昨年同様に参加協力を引き受けて下さった事業所の皆様には事前に撮影を行った映像での出演をしていただきました。今回の新たな取り組みとして、オンライン会議システムを利用してのライブ配信を行うことで、今まで会場に来ていただいていた他事業所の利用者の方々にも見てもらうことが出来ました。

発表会は森勇さんの開会の言葉で始ま



オペレッタでブレーメンの音楽隊を熱演

お疲れさまでした
発表会から一週間後にお疲れ様会を行い、発表会を撮影した動画を見ながら皆で労をねぎらいました。自分たちの演奏や演技を映像で見ることが、新鮮だったようです。早速、来年へ向けての新たな目標もできたようでした。
小山泰彦

り、文化活動で練習に取り組んでいけるヘルマンハーブ・フラダンス・トーンチャイムを披露、練習の成果を十分に発揮することが出来ました。放課後等デイサービスの児童はハンドベルに挑戦、職員と共に「さんぽ」「アンパンマンのマーチ」の二曲を演奏しました。今年はおペレッタで「ブレーメンの音楽隊」を披露。皆さん役になりきり上手く演じることが出来ていました。児童の皆さんの開会の言葉で会は終了。
来年こそは体育館でたくさんの方々に見てもらえるような発表会に出来ることを願っています。
総務主事 福田 亮



高松ホーム

買い出し班と料理班に別れて準備を行い、昼食作りを行いました。おやつにホットケーキも作り簡単なところは手伝ってもらいました。出来上がりの様々なホットケーキを見ては、自信作だったのか話はずみ、美味しそうに食べられていました。数少ないホーム活動でしたが笑顔が見れ私も満足でした。
高松 豊



3月ホーム活動

三月下旬一年間の締めくくりとしてホームごとに行事を行いました。

光長ホーム

東望で昼食作りを行いました。親子丼、みそ汁、野菜サラダを作りました。その後、お菓子とジュースを頂きました。今年も色々な行事もあり、作業も頑張ったねと振り返り、次年度も元気で過ごせます様にと皆で語り合いました。
光長まゆみ



小田ホーム

カレーライス作りに挑戦しました。ホームの利用者の方と交流する機会が少なかったですが、活動を通してコミュニケーションができたと思います。最後に利用者の皆様からの美味しかったと言葉も聞かれ、来年度もまた行いたいと話しました。
小田鉄也



福田ホーム

諏訪の池を経由して小浜方面へドライブを実施しました。咲き始めた桜の花見を兼ねていましたが、気温低下のためか五分咲き程度の桜しか見られませんでした。昼食をロ之津町のレストラン「波美音」で。個室を予約し久しぶりの外食を行いました。最後に東望でお風呂に入りデイ雲へ、久しぶりの外出・外食をみんなで楽しみ良い思い出が出来ました。
福田亮



おまち台

一月からデイ雲の利用を開始された田中信之さんです。現在、手織り班に所属し徐々に難しい作業にも取り組まれています。

今までステーションほかにおで身につけたことを活かしてデイ雲でも頑張ります。



雲と虹

行事予定

- 日帰り旅行
- 花見外出
- 手作りおやつ
- 収穫祭

※状況により延期・中止になる場合があります。

花ほころぶ春の季節に事業所の周りも梅からはじまって菜の花・いくり・桜と次々に花が咲いています。そのような花を見ながら私達職員も気持ち新たに日々利用者を支援に従事しています。今春、放課後等デイサービスの児童に新しい仲間が増えました。慣れない環境に落ち着かない様子が伺えましたが生活介護の利用者さんの暖かい眼差しや声掛けに徐々に緊張も解け、子供らしいかわいい笑顔が返ってきます。
学校生活の短い期間ではありますがデイ雲で楽しく過ごしてたくさんさんの思い出作りが出来るように、職員一同協力しながら向き合っていきたいと思っています。
指導主任 山本智恵美

悠炉里

共同生活援助事業所
(介護サービス包括型)
悠炉里広報誌

4月号

新年度への期待を胸に家族と繋がりを

悠炉里 施設長 志賀常盤

コロナ禍も終息の目途は立たず、施設行事や運営に苦慮されていることも多いと思われま

す。当事業所においても面会や帰省など、利用者の楽しみに制限をかけるなど、心苦しい日々を送っています。

今年度も感染対策に留意しながら、利用者の喜び幸せの為に職員一丸となって取り組んでいきたいと思えます。



日野江城跡の桜を背景に楽しそうな笑顔

Aユニット遠足 みんなで歩く春の道

年度末の活動として、愛宕地区に住居を置くAユニットでは、体力作りの為に隣町まで遠足を企画しました。



小春日和に恵まれた三月中旬、車の少ない裏道を使い、口之津公園まで歩きました。出かけるのも制限されている昨今、ほとんどの人が運動不足でしたが、心地よい春風の中、頑張っ



(吉田未来)

スポットライト



多田浩志さん

いつも身支度は100点満点の多田さん。出勤も時間通り！箱折りのスピードは誰にも負けません！！ビタミンクリームで肌のお手入れも毎日欠かしません笑 (小倉徳男)

NEW FACE



春本幸成さん

高校卒業し、4月より悠炉里での生活を始めました！コミュニケーション能力を高めるのが目標です！仕事は希望していた農作業を頑張ります！悠炉里のみならず可愛がられています♪ (吉田未来)

悠炉里 初の試み！

それぞれの春の進展

一般就労に就いている人ばかりを集めたホームに幸さんが入りました！同じ境遇の人たちと生活していくことで、協力することや相手を思いやることを学び、これからも成長し続ける幸さん。誇りを持って「そこがもう一つの家族」だと言えるように絆を深めてください！



溝上 幸さん

悠炉里では、新たな気持ちでスタートをきる一つの取組みとしてホーム担当職員の総入れ替えを行いました。

悠炉里は去年の十二月に事業所内研修で「虐待とは、濃い人間関係で発生しやすい事」をテーマに、濃い関係が出来れば出来るほど愛着がわき遠慮がなくなり虐待になりやすくなる、という勉強をしました。その為、長年同じホームを受け持つのではなく、新たなホーム・新たな気持ちで利用者支援を行うことにしました。

そうする事で、虐待を生まない職場の環境作りや、一人でも多くの利用者の特性を知る事ができるといった相乗効果を期待し、今年度も取り組んでいきます。(指導主事 大場)

祝 退職



悠炉里を支えてくれた向パパ☆

長い間、事業所の為にいつも陰ながら支えてくれた縁の下の方たち・向パパ☆ これからも無理をせず、お孫さんの成長を見守りながら、ご夫婦の生活を楽しんでください。(田中史子)



今後の行事予定

- ◎ホーム活動
- ◎自治会総会(予定)
- ◎未帰省者活動(GW)

我ち愛

障害福祉サービス
ワークネットやはた
広報誌 4月号

目標への一歩

四月四日、やはた共育大学の入学式を行いました。今年度は、島原特別支援学校より伊藤智哉さんが入学され、生活訓練（二年間）、就労移行（二年間）の四年間を過ごします。

新たな仲間が加わり、活気溢れる春を迎える事ができ、これからたくさんさんの経験を通して「夢の実現」に向けて頑張って頂きたいと思えます。

我々ワークネットやはた一同、全力でサポートしていきます。
(松尾浩道)



新入生誓いの言葉 自分の言葉で伝えることができました

園芸班のお仕事

1月から町内の農家へ玉ねぎ収穫に出掛けています。引き抜きや切り取り作業ハサミを上手に使用しながら行っています。農家の方々とは顔馴染みになり、気軽に話をしながら和気あいあいと頑張っています。

休憩時間では、農家の方が準備されたおやつを食べ談笑しながら楽しい時間を過ごしています。作業後には農家の方々から「ありがとう」「助かった」との感謝の言葉に「また来年もきます」と張り切っています。

4月からは馬鈴薯の収穫も始まります。

(宮田郁男)



農家さんと一緒に3時のおやつ



玉葱引きの様子

坂木優太さんの司会進行で緊張しながらも最後までやり遂げる事ができ、これからもいろんな行事を利用者と共に企画し、一緒に考え取り組んでいきたいと思えます。

(白石祐貴)



選考・御成人



選考・御成人

「障碍者だから」といった言い訳も通用しません。一人のパートナーとして、お互いに支え合い、補いながら何ができないことを前提に考えながらも相手の可能性を過小評価せず、それぞれが持っている輝きを開花させるといふ強い気持ちで、共に成長していきたいと思えます。(松尾浩道)

散歩道

当事業所では、地元の縫製工場より製品を受注し、アイロン、ラベル付け、たたみ作業を行っています。自分たちが仕上げた製品がお客様に届く。この責任と緊張感を持ち、社会の一員として役に立つことで、働く喜びに繋がることと思っています。

「障碍者だから」といった言い訳も通用しません。一人のパートナーとして、お互いに支え合い、補いながら何ができないことを前提に考えながらも相手の可能性を過小評価せず、それぞれが持っている輝きを開花させるといふ強い気持ちで、共に成長していきたいと思えます。(松尾浩道)

新入生からの挨拶文

本日はこのような式を開いていただき、ありがとうございます。

この四年間で、たくさんさんの経験を積み、就職に向けて一生懸命取り組んでいきます。

そして、たくさんさんの友達を作りたいです。

皆さん温かくご指導の程よろしくお願い致します。

やはた共育大学
一年 伊藤智哉



AED寄贈

一般社団法人生命保険協会よりAEDを寄贈して頂きました。当協会では社会貢献活動として2014年度からこの活動を続けられており、累計23台を寄贈されています。

頂いたAEDは、加津佐本町にありますリユニヌへ設置し、施設の利用者のみならず、近隣地域にも役立てていきたいと思えます。

(濱田由佳)



ワークネットやはた この人！！

名前 立木 利徳さん 62歳
令和3年4月から一人暮らしをされています。

Q) 得意料理は何ですか？

「焼きそば」

Q) 休日は何をしていますか？

「買い物やカメラが好きです」

「撮った写真を皆さんに配ること」

●これから…

作業と自分の時間を両立し楽しく生活していきたいです。



しほはしほ

家族・友人からのメッセージ

デイ雲柿の木 所長 原口由紀子

毎年、ビデオカメラで撮影した日常の様々な活動の様子を編集して、上映会を開き、みんなで視聴するのが三月の恒例行事となっています。

今年で九回目を迎えるこの動画編集は、担当職員にとっではかなり大変な作業になりますが、上映会で目を輝かせて自分の姿に一喜一憂するみんなの顔を見ると、編集の苦労が一瞬にして報われる作業でもあります。最初は、動画をつないだだけの編集に音楽を入れ、キャプションやナレ

防止等重点措置解除後から撮影を開始。家庭訪問や送迎時をフル活用し、新たにカメラ購入して撮影

「毎日擦り切れるほど視聴しているよ」と、ご家族から話を伺うと本当にうれしいものです。

さて、令和三年度は新たな取り組みとして、ご家族や知人からビデオメッセージを映し出すアイデアを取り入れました。コロナ蔓延防止等重点措置解除後から撮影を開始。家庭訪問や送迎時をフル活用し、新たにカメラ購入して撮影

突然、エンドロールに映された家族や友人、担当職員からのメッセージに、思わず返事をし、手を振り背伸びで見入る姿は、心を打つ大成功のサプライズとなりました。

「毎月擦り切れるほど視聴しているよ」と、ご家族から話を伺うと本当にうれしいものです。

さて、令和三年度は新たな取り組みとして、ご家族や知人からビデオメッセージを映し出すアイデアを取り入れました。コロナ蔓延防止等重点措置解除後から撮影を開始。家庭訪問や送迎時をフル活用し、新たにカメラ購入して撮影



絵：石川智広さん

「金魚」

危機管理 もしもに備えて

今、日本列島で頻発する自然災害は、予想を超えているといっても過言ではありません。誰もが被災する可能性のある災害の「その時」に備え、今回の調理訓練は、『災害食』をテーマに取り組むことにしました。

災害といえば？という問いに利用者の方も「地震！津波！」と答え、災害に対する意識は高まっていると確信しました。

食器は新聞紙を折って作る皿、牛乳パックで作るスプーンを自分たちで準備し、災害時を想定したパックごはんやレトルトカレー、缶詰等をおかずを食べました。大好きな食を通し、災害を考える良い機会でした。

(福田恵理)



おいしく食べました

5月の行事

- 3日 ホーム別活動&ハザー※
 - 6日 菖蒲湯
 - 11日 河川アダプト
 - 18日 誕生日会
- ※印は参加費あり

言の葉

春は別れと出会いの季節です。今年、柿の木でも長年ともに働いていた職員が異動となり、お互いに変化の春が来ています。

私たち職員にとって異動は、期待感もある一方で、新たな場所での再スタートにストレスを感じる職員がほとんどかもしれません。私も過去に異動を経験しましたが、同じ法人内でも事業所違えば覚えることが山ほどあり、同じ業務でも行程が違って戸惑うことも少なくありません。そこに慣れるまで、とても大変な思いをした記憶があります。

さて、今回異動となった生活支援員は現場にとつていないことが想像できない重要な役割を果たしていました。私はもちろん、他の職員もそのことで四月からの仕事への向き合い方を再確認することでしょう。サービスの質が落ちたと言われたいよう今後も業務にまい進し、彼女の頑張りに負けないよう奮闘したいと思えます。

(指導主任 福田恵理)



スクリーンを見る視線は真剣そのもの

柿の木は一日にして成らず!

バイキング食に取り組むようになって五年度の年り、今ではかなり上手に盛っている料理を、トンと盛っていました。成功には積み重ねが大げな使用が、自分の皿から支障の極意だと思いきや、よくありました。毎月、これからも一緒に前



スूपも上手に注げます



上映中

ようこそ柿の木へ☆



村上松晃支援員 中村 陣くん 木村友星くん

4月から柿の木の仲間になったお3人です。たくさん思い出作っていきましょう。

郷土の偉人～三宅良齋とその一族

口之津歴史民俗資料館長 松本 昇

はじめに

写真の下には、次のような説明がある。「三宅良齋（ごんさい）。1860年に咸臨丸がサンフランシスコ寄港のおり、ジョン万次郎はダゲロタイプの写真機を購入し、帰国後、多くの知人の写真を写しています。この写真もそのひとつで、良齋が抱えているのは借りもののウェブスター、あるいはウースターの大辞典でしょう」



ジョン万次郎がこの写真を撮ったのは、文久2年、1862年のことである。この年から、当時、日米両国とも激動の時代であったことがわかる。日本では、大老の井伊直弼が尊王攘夷派を弾圧したり、その井伊が桜田門外で殺害されたりしていた。一方のアメリカでは、南北戦争が起きていた。日米ともに痛みを伴う時代であったのだ。この点は興味深い。

さらに興味深いのは、良齋が当時珍重されていたウェブスター大辞典を抱えていることだ。この辞典はジョン万次郎からの借りものである。彼が1860年（万延元年）に日米修好通商条約の批准書交換のためにアメリカへ行った際、買ったとされる。良齋が大辞典を抱えている姿、それはまるで、後に飛躍的に発展してゆく英語圏の世界を見すえているようである。では、良齋はいかなる人物なのか、その魅力に迫りたい。

1. 良齋の略歴

1817年（文化14年）、良齋は肥前の国（長崎県）高来郡北有馬村で英庵の4男として生まれた。幼名は桃樹。祖父の玄碩も英庵も医者であった。8歳の時、肥後（熊本県）の伯父、鹿小木仁夫（まさお）のところで学を学ぶ。おそらく学とは、儒教の教典のことだろう。1841年に父英庵が亡くなると、長崎に出て榊林栄建のもとに入門しオランダ医学を学ぶ。14歳の時であった。栄建のもとで8年間修業した後、1837年（天保8年）、和田泰然（順天堂大学の創立者、後の佐藤泰然）、林洞海と共に江戸へ行き、泰然らと同じく薬研堀（やげんぼり。中央区東日本橋）に住む。そして開業をきっかけにして、父の名を襲ってみずから英庵と称した。数え年で22歳の時であった。

1841年（天保12年）、泰然の口添えもあって石山嘉左衛門の長女、遊亀と結婚。良齋25歳、遊亀18歳だった。遊亀は「男勝りの性質で、若くして遊芸を好み、特に音曲に秀でた」女性だった。

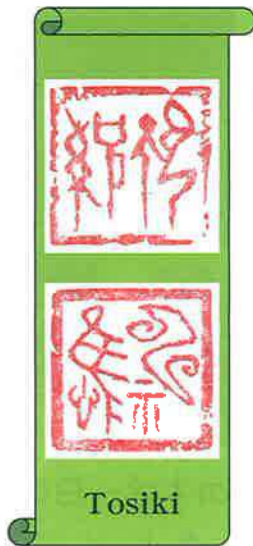
結婚を機に、良齋は下総の銚子に移住して医者をつづけるのだが、この時、名を良齋と改めた。とにかく、外科医としての能力は非常に優れていた。その証拠に、良齋は下総の佐倉藩（千葉県。藩主は老中の堀田正睦・まさよし）の藩医になったのである。もちろん、その陰に泰然のはたらきかけがあったことは、いうまでもない。良齋28歳の時であった。

翌年の1845年（弘化2年）、良齋は堀田侯の領地、出羽の国（岩手県）柏倉に赴任するが、しばらくして江戸に移った。その後、医学書を翻訳したり、西洋医学所（種痘所の改称により成立した幕府の医学機関）の教授になったりして、医学の発展に貢献した。だが、晩年に体調を崩し、1868年（明治元年）に他界する。享年58歳であった。

良齋の長男、復一（またいち。後に秀、ひいず、に改名）は父親から英才教育を受けたこともあり、東京大学の初代学部長にのぼり詰めた。また息子の鉦一も、その息子の仁（まさし）も東京大学の医学部教授になった。鉦一は精神科を、仁は病理学を専門とし、ともに第1級の医者であり学者でもあった。（つづく）

口之津は南蛮渡来の歴史の港町がある。平戸浦瀬浦からポルトガル船が回航され、長崎より早く1562開港した。そして、江戸時代は船で長崎に出るといふ海路が盛んであったと聞く。しかも、柑橘類の歴史を秘めたのも口之津である。長崎県に園芸課が創設され、柑橘類の試験場が島原半島の無霜地帯早崎地区に創設されたのは、地元には画期的なことであった。そしてこの試験場から派生多くの品種が生み出された。「ミカン」の歴史を映すロケーションもある。みかんを愛する人も多く見受けられる。就中、自宅の庭に珍しい柑橘を植えた私立試験場 末統庭園がある。12月25日「ミカン狩り」に招待を受け、史談会会員十数名が楽しんだ。

口之津史談会みかん狩り



2021年12月のミカン狩りの写真(開田公園)

「九九年母」が話題沸騰、その果実の価値「長生きのエキス」が問われている。最近、ミカンの品種が話題になっているが、ヒット商品が口之津試験場から産出されている逸話も多くある。

みかんの歌ではなく「ミカンの歴史」に花が咲いた。健康の話から、長寿の話、試験場で育成されている「九九年母」が話題沸騰、その果実の価値「長生きのエキス」が問われている。

ダウン症は、「短命説」が何時の頃からあった。その根拠は、男子の寿命は戦争などによって不揃い、女性は出産による死亡の事例が多くあり、30歳位が平均寿命であったとする歴史書もある。ダウン症の寿命は長命は謎であった。しかし国際障害者年を契機とし

ダウン症長命のグラフの根拠

て、国民の長寿が議論される中で、わが国においてもその統計を取った国際論文(正木基文外11名)がある。しかし、その論文は福祉施設及び教育の分野では注目されなかったが、菅野敦は2015平成27年の私たちの業界誌で指摘した。その時筆者は、八雲寮の松尾と調査2014を纏めていた。それは過去において調査の実績の有無である。既に、「どしきの紙面」で概報しているのが、重複するが、伊藤堅逸(1955・1959)、水田善次郎(1981・1993)の論文データは、貴重である。そして、菅野らの1997論文を基盤に作成、赤い線(指数)と年齢の図である。

理事長 志賀俊紀

ひまわりテレビにて放映
三宅良齋について志賀、津曲氏、松本氏、竹下氏で行った座談会の様子がひまわりテレビにて収録され3月「郷土の偉人『三宅良齋とその一族』について語る」と題されて放映されました。



座談会の内容や映像の視聴については法人事務局へお問い合わせ下さい。0957-87-2464

ダウン症長命グラフ

